

ベトナム人材会社から独自のニュースを毎月お届け！！



HR-Link ニュースレター

2018年2月号

17年度海外労働派遣：日本行きが全体の4割

労働傷病兵社会省海外労働管理局が発表した統計では、2017年に送り出したベトナム人の海外派遣労働者数は13万4751人(女性5万3340人、全体の39.6%)で、前年比6.7%増となった。2017年の年間目標値10万5000人を3万に程上回り、これにより4年連続でベトナム人の海外派遣労働者数が年間10万人を超えた。

2017年にベトナム人労働者を送り出した派遣先のうち、派遣労働者数が最も多かったのは引き続き台湾と日本だった。中でも日本への派遣は全体の40.4%を占める5万4504人(女性2万4502人)に達した。

派遣先別で見ると、◇台湾：6万6926人、◇日本：5万4504人、◇韓国：5178人、◇サウジアラビア：3626人、◇マレーシア：1551人、◇アルジェリア：760人、◇ルーマニア：683人などとなっている。

『Hong Kieu, Vietnam 15/01/2018』

給与問題：韓国系企業でストライキが発生

東南部地方ドンナイ省で韓国系縫製会社の工場労働者約1000人が工場の敷地内でストライキを行った。理由としては旧正月が間近に迫っているにもかかわらず、給与の未払いが解決されていないからだという。ここ数か月間は給与の支払いが遅れ、福祉制度に沿った諸手当も支払われていないという。

工場労働者は、同社の責任者が逃走することのないよう事務所を取り囲んで対話を求めているが、会社側はまだこれに応じていない。

『Zing 13:02 GMT+7 09/02/2018』

目次

特集記事

17年度海外労働派遣数	1
韓国系企業でストライキ発生	1
U23ベトナム準優勝	2
偽札の見分け方	2
ベトナム人女子殺害その後	3

今号のハイライト

時事ニュース	2
街角便り	3
今月の一品	4



アジアサッカー大会 U23 : ベトナム準優勝

1月9日から中国で開催されたアジアサッカー大会 U23 でベトナムが準優勝の好成績を残した。同大会では東南アジア勢が準決勝まで残ったのは初めてで、準決勝のカタール戦ではベトナム全土で非常に高い関心が集められていた。

そのカタールを PK 戦で制した際にはベトナム全土がお祭り騒ぎとなり、企業も臨時の休みを取るなど社会現象となっている。決勝では惜しくもウズベキスタンに敗れたが、当日の降雪により慣れない雪の中接戦を演じたベトナムの選手たちは多くの人々に感動を与えた。

中国から帰国した選手たちはハノイのノイバイ空港から多くの人たちに迎え入れられ、空港から市内に向かうまでの沿道も多くの人々で賑わっていた。今回の結果によりベトナムサッカーの今後の発展を期待する人も大勢いるようだ。

一方準決勝の勝利で狂気している大勢の群衆に注意をするよう日本大使館から呼びかけが出されるといった事態も発生している。これまで外国人がこういったトラブルに巻き込まれたという報告は挙がっていないが、今回の結果は旧正月を控えたベトナム人にとっていいプレゼントとなったようだ。

時事

寒波でハノイの小学校休校へ：

1月下旬ハノイ及び北部各地方では厳しい寒波に見舞われ、ハノイの小学校、幼稚園が休校することになった。

ハノイ市教育訓練局の規定では幼稚園、小学校は気温 10 度を下回ると休校すると定められており、中学校では 7 度以下で休校となる。

今年は例年より冬の寒さが厳しく、東北部地方ランソン省では気温がマイナス 2 度まで下がったほか、その他の地域でも気温が 4 度を下回った。

ハノイのような 1 年のわずかな期間のみ急激に気温が下がる地域では各家庭での暖房設備などが充実していない場合が多く、各家庭で暖をとることに苦労している。

ハノイ市内ではインフルエンザを始めとした各種病気の感染の増加も懸念されており、新聞などのメディアを通じて注意喚起を行っている。。

最近のご祝儀を銀行振り込みで！？

最近の結婚式のご祝儀は、従来のようにご祝儀袋に入れて披露宴会場で受付に渡す形式から、なんと「口座振込」に変わりつつあるようだ。

ホーチミン市 3 区の会社員アインさん(女性・27 歳)は、ハノイ市で執り行われた友人の結婚式に出席できない代わりに、ご祝儀を友人の口座に振り込んだ。今月に入ってすでに 2 回、ご祝儀を口座に振り込んだという。アインさんはご祝儀を口座振込にするわけをこう話す。「これまでは式に出席する別の友人にご祝儀袋を託していましたが、口座振込の方が早いですし実用的です。挙式の費用の足しにしてもらえればと思って、式の 1 週間前に口座に振り込むようにしています」。

一方で、メコンデルタ地方ベンチエ省のチーさん(男性・29 歳男性)は口座振込に否定的だ。「ご祝儀の口座振込は、誰もが銀行口座を持っていて、携帯電話やパソコンから振込ができるような都市部に住む若い世代には向いているかもしれませんが、私たちのように農家や市場で商売をしている人にはご祝儀袋の方がしっくりきますね」とチーさん。

また、ホアイさん(男性・25 歳)が住む紅河デルタ地方ハイズオン省トゥーキ郡では、結婚式後に新郎新婦の両親がご祝儀袋を開けて誰から幾ら貰ったかを記録する。これは結婚式の参列者やその関係者がこの先結婚した際のご祝儀額の参考にするためだそうで、口座振込では両家の両親がご祝儀の詳細を把握しにくくなってしまうという。

ハノイ市で大学の講師をするアインさんは、結婚式に参列できなかった時に新郎新婦に口座情報を教えてもらいご祝儀を振り込んだことがある。遠方で参列できない場合やご祝儀袋を託す人がいない場合には口座振込も決して問題ではないと考えている。

『Thuy Hang, Thanh Nien,14/01/2018』,



千葉県小3 女児殺害事件からその後

昨年の3月24日に千葉県松戸市で小学校3年生のベトナム人女児が行方不明になり、翌々に遺体で見つかった事件がありました。事故が発生した当時は日本での各メディアでも大々的に報じられていましたので、ご存知の方も多いことかと思われます。しかし1年近く時が流れた今、人々から事件の印象が薄まりつつある中で未だに被害者の父親は殺害された娘のための活動を行っており、その活動はベトナム本国で大きな話題となっています。今回は当時の事件の振り返りから、被害者の遺族が現在どのような活動を行っているのかをご紹介します。

・事件の概要

2017年3月24日千葉県松戸市で当時小学3年生のベトナム人女児が登校した際に行方不明となり、その翌々に同県安孫子市の草むらにて絞殺されているのが見つかった。また遺体発見現場から約20KM離れた河川敷で被害者のものと思われる衣服たランドセルなどが見つかった。警察の捜査の結果同年4月14日に被害者の通っていた小学校の保護者の会元会長の男を死体遺棄容疑の疑いで逮捕した。現場の遺留品のDNAが一致したのを逮捕理由としている。容疑者はこの女児と顔見知りで、事件前にも直接やり取りしている姿も目撃されている。調べに対して容疑者は事件に対して一定のことを話しつつも、全容については2018年2月現在でまだ明らかにはなっていない。

・判決内容に対する被害者の父親の訴え

本事件において裁判所は容疑者に対し懲役刑を言い渡しているが、被害者の父親は容疑者に死刑の言い渡しを求めている。裁判所側は現在事件の全容が未だ明らかになっていないことや、過去の事例と照らし合わせた結果から死刑判決をすることは難しいと考えており、遺族の訴えは現時点で受け入れられていない。

・人々に署名を求めて日々活動

裁判所からの判決内容を受けて納得のいかない被害者の父親は、現在千葉県のエリアを中心に容疑者へ死刑判決を下すための署名運動を行っている。日本国内で署名活動を行った結果、日本各地から日本人、ベトナム人両者から署名をもらうことができています。現在の時点で裁判所の判決内容が変わるところまでは来ていない。

次ページへ続く

街角便り



ベトナムで偽札が増が： 見分け方は？

一時期偽札の数は減少傾向にあったが、最近また増加傾向にあるのを受けて、以下に偽札を見分ける簡単なポイントを紹介する。

1、紙幣を光にかざしてホーチミン主席の透かしの図柄及び裏面の偽造防止帯を確認。透かしができないものや帯の部分の文字が不鮮明なものは偽札。

2、ホーチミン主席の肖像画、国章、額面の文字の部分の軽く触れて凹凸があるか確認。本物はインクが盛り上がりざらつきがあるが、ツルツルで凹凸がないものは注意が必要。

3、ブロンズ色のメタリックで印刷されたマークのインク色が角度によって変化するか確認。角度を変えてもインクの色が変わらないものは偽札。マークは10万VNDの右上、20万VNDと50万VNDの左下にある(いずれも裏面)。

4、透明の窓の部分を確認。この部分にエンボス加工で印刷された数字が不鮮明なものは偽札。

紙幣を受け取ったときに少しでも怪しさを感じた場合は上記の部分を確認してほしい。一度受け取って後々偽札であることが分かっていても取り換えることはできないので注意が必要だ。

今月一品



バイン クオン
(Bánh Cuốn)

今月一品はこちらです。バインクオンは米粉をフライパン上で薄く伸ばしたものを巻き上げ筒状にしたものです。専用の甘酸っぱいつけダレといっしょにお召し上がりください。

付け合わせの肉は地域によって種類が異なりますが、ハノイの南にあるハーナム省の郷土料理でして、そちらでは豚肉を炒めたものが添えられています。ハノイでもお昼時によく食べられており、学生からは間食としてのおやつ代わりとして人気があります。

ローカル食堂で 25000 ドン(125 円)～

お問い合わせ

HR-Link.Vietnam

15Fl., TTC Bldg., 19 Duy Tan St., Dich Vong Hau Ward, Cau Day Dist., Hanoi (ハノイ本社)

553 Xo Viet Nghe Tinh, Binh Thanh District, Hochiminh City (ホーチミンオフィス)

東京都中央区日本橋箱崎町
32-3 11F 日本 HR リンク株式会社 (日本拠点)

Tel: (84-24) 3795-7037 (ハノイ)
Fax: (84-24) 3795-7038 (ハノイ)
Web: <http://hr-link.com>

HR-Link.Vietnam は、人材紹介事業を通じて企業の事業拡大と個人の自己実現をサポートし、豊かな社会づくりに貢献します。

・署名活動を通じて被害者の父親が感じていること

署名活動をしばらく続けた結果、一定の署名数は集まっているものの署名に応じた人の割合は日本人よりベトナム人が圧倒的に多いものとなっている。これは被害者の父親の人脉がベトナム人のほうが多いからということもあるが、まったく見ず知らずの他人の場合、やはり同国の人のほうがより共感、関心を得られやすいということが考えられる。被害者の父親は日本での判決を変えさせるにはより日本人からの応援が必要だと考え、現在も今まで以上に日本人からの署名を求めて日々活動を行っている。この姿がベトナム現地のニュースなどで取り上げられ同国内でも話題となっている。

・ベトナム国内でメディアに取り上げられたことを受けて

被害者の父親の現在の活動をベトナムのメディアが取り上げて以来、ベトナムではこの遺族を応援するための寄付金を募ったり、ベトナム国内での署名活動を手伝う人々も出始めている。またベトナムへ進出している日系企業にも署名などを依頼する動きもあるようだ。この遺族の活動や有志の協力者たちの活動が判決内容に今後どのような影響をもたらすかは定かではないが、現在でもこういった活動は続けられている。

以上が本事件が発生して以降、現在に至るまでの概要です。現在の日本では死刑制度そのものを廃止すべきかどうかを議論されている局面であり、遺族の方が求める極刑の判決が下るのは容易なことではないと思われます。

しかし日本国内で日本人が外国人を殺害するといった事件が発生しているというのは事実で、今回の事件はその数あるうちの1つに過ぎません。こういった事件は時間と共に風化されがちですが被害者の遺族やその国の人々にとっては簡単に忘れられることはありませんし、たとえ日本が世界的に安全な国と言われていても、こうした事件が起こっていることは日本人として知っておくべきことであります。またこれからも外国人が増えていくであろう日本社会において向き合っていかなければならない問題でしょう。

今回はベトナム人が関係している事件でしたのでこの場を借りて紹介させていただきました。

本ニュースレターに関するご要望、ご意見、その他弊社人材に関するお問い合わせは左記の連絡先または info@hr-link.jp までお願いいたします。